

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	5	政策	1	施策	① 町民参加のまちづくりの推進	担当課・係	企画課企画防災係
------	---	----	---	----	-----------------	-------	----------

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
まちづくり町民みらい会議の開催回数【単年】	回	3	5	5	まちづくり町民みらい会議の開催回数【単年】	回	3	5	5
まちづくりへの町民参加に関する基本ルールの作成	—	—	作成済	作成済	まちづくりへの町民参加に関する基本ルールの作成	—	—	作成済	作成済
まちづくりアイデアコンテストの実施回数【単年】	回	—	1	1	(削除)				
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
まちづくり意見公募手続制度による住民からの意見提出件数（1案件あたりの平均）	件	3.3	5	7	まちづくり意見公募手続制度による住民からの意見提出件数（1案件あたりの平均）	件	3.3	5	7
まちづくり活動支援事業交付金を活用した住民主体によるまちづくり活動の件数【単年】	件	2	5	7	まちづくり活動支援事業交付金を活用した住民主体によるまちづくり活動の件数【単年】	件	2	5	7
(ア) まちづくりに意見・要望を反映させる場や機会に対する住民満足度	%	(H30) 17.5	50	70	(ア) まちづくりに意見・要望を反映させる場や機会に対する住民満足度	%	(H30) 17.5	50	70
					(見直し理由) (まちづくりアイデアコンテストの実施回数) ・関連する短期事業3「まちづくりアイデアコンテストの実施」を項目併合で削除することに伴い、指標も削除する。				

現行	見直し後	摘要
<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業）</p> <p>1. <u>町民からの選出による「まちづくり町民みらい会議（仮称）」を開催する。</u>（主体：町）</p> <p><u>まちづくりに対する意識を他人事から自分事に変え、参加意識の向上を図るため、町民から年代別に無作為に選出した方々を集め、まちづくりについて日頃思っていることなどを話し合う「まちづくり町民みらい会議(仮称)」を開催する。</u></p> <p>2. <u>まちづくりへの町民参加に関する基本ルールを作成する。</u></p> <p><u>（主体：町）</u></p> <p><u>住民と行政が協力してまちづくりを進めるため、それぞれの役割や、まちづくりの方向性、町民参加の手續や仕組みなど、まちづくりへの町民参加の基本ルールを明文化することにより、町民のまちづくりへの参加意識の向上と参加機会の増加を図る。</u></p> <p>3. <u>まちづくりアイデアコンテストの実施（主体：町）</u></p> <p><u>まちづくりに関する町民のアイデアを募集し、審査を行うコンテストを実施する。最優秀アイデアについて、実現に向けて取り組むことにより、まちづくりへの参加意識の向上を図る。</u></p>	<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業）</p> <p>1. <u>「まちづくり町民みらい会議」を開催し、町民からのアイデアや意見をまちづくりに取り入れる。</u>（主体：町）</p> <p><u>まちづくりの課題解決や新たな施設整備などに向けての検討を行う際に町民がまちづくりについて日頃思っていることや課題解決に向けたアイデアなどを話し合う場としての「まちづくり町民みらい会議」を開催し、町民からのアイデアや意見をまちづくりに反映させる。</u></p> <p>（継続的事业へ移行）</p> <p>（項目を併合）</p>	<p>取組の進捗状況等を踏まえ、事業名・取組内容を修正</p> <p>5-1-①みらい会議の開催に本取組を含めるため、削除。 ※コンテストの形はとらないが、みらい会議などで町民のアイデアを取り入れる取組を引き続き実施</p>

現行	見直し後	摘要
<p>■10年間で継続して取り組むもの（継続的事業）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町内会連合会活動の活発化により、まちづくりへの参加意識を向上させる。（主体：町、町内会連合会） 2. 集会所の利用環境を向上させ、まちづくり活動等の活発化を図る。（主体：町） 3. ボランティア活動の普及・啓発を図る。 （主体：町、ボランティア団体） 4. 各種審議会・委員会委員の公募制を促進する。（主体：町） 5. まちづくり意見公募手続制度を推進する。（主体：町） 6. まちづくり活動支援事業交付金の利用促進を図る。（主体：町） 	<p>■_____継続して取り組むもの（継続的事業）</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 町内会連合会活動の活発化により、まちづくりへの参加意識を向上させる。（主体：町、町内会連合会） 2. 集会所の利用環境を向上させ、まちづくり活動等の活発化を図る。（主体：町） 3. ボランティア活動の普及・啓発を図る。 （主体：町、ボランティア団体） 5. 各種審議会・委員会委員の公募制を促進する。（主体：町） 6. まちづくり意見公募手続制度を推進する。（主体：町） 4. まちづくり活動支援事業交付金の利用促進を図る。（主体：町） 7. <u>まちづくりへの町民参加に関する基本ルールを作成する。</u> <u>（主体：町）</u> 	<p>※事業掲載順を修正</p> <p>短期的事業から移行</p>

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	5	政策	1	施策	② まちづくり人材の育成	担当課・係	企画課企画防災係・社会教育課社会教育係
------	---	----	---	----	--------------	-------	---------------------

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし					※見直し項目なし				
	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)					
「まちを学ぶ講座」の開催回数【単年】	回	—	3	5					
集中講座の開催回数【単年】	回	—	2	2					
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし									
	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)					
まちづくり活動支援事業交付金を活用した住民主体によるまちづくり活動の件数（再掲）【単年】	件	2	5	7					
人材育成事業から派生したまちづくり団体の数【累計】	件	1	2	3					

現行	見直し後	摘要
<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業）</p> <p>1. 「まちを学ぶ」講座を開設する。（主体：教委、町） 小学生から高齢者までを対象に、まちで活躍する方々を講師とした「まちを学ぶ講座」を開催し、まちの産業や商工業、歴史・文化、伝統行事などについての理解を深めてもらい、まちで活躍する人材を育てる。</p>	<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業）</p> <p>1. 「まちを学ぶ」講座を開設する。（主体：町、教委） 行政や産業、歴史・文化、伝統行事などまちの現状についての理解を深めてもらう「まちを学ぶ講座」を開催する。また、講座を住民、行政相互で話し合う場とすることで、まちが抱える課題の認識やまちづくりについてのアイデアを共有するなど、まちづくり人材の育成も図る。</p>	<p>短期的事業2と合わせた内容に修正</p>

現行	見直し後	摘要
<p><u>2. テーマを設定した集中講座を開設する。(主体：町、教委)</u> <u>まちの現状を知ることにより、住民、行政の双方が将来のまちづくりへ危機感を持って臨むことができるよう、テーマを設定した専門性の高い集中講座を開設する。</u></p> <p><u>3. 地元の産業や文化に触れる体験学習の充実を図る。(主体：教委)</u> ※詳細は、「3-1-②小中学校教育の充実」の目標達成のための具体的な方法欄に記載</p> <p><u>4. 「広尾町検定」を導入する。(主体：教委)</u> ※詳細は、「3-2-④文化財の保存、継承」の目標達成のための具体的な方法欄に記載</p> <p><u>5. 防災リーダーを育成し、共助の力を高める。</u> (主体：町、教委、地域) ※詳細は、「4-1-①防災・減災対策の充実」の目標達成のための具体的な方法欄に記載</p>	<p>(項目を併合)</p> <p><u>2. 地元の産業や文化に触れる体験学習の充実を図る。(主体：教委)</u> ※詳細は、「3-1-②小中学校教育の充実」の目標達成のための具体的な方法欄に記載</p> <p><u>3. 広尾地域学の充実を図る。(主体：町、教委、広尾高校)</u> ※詳細は、「3-1-③高校教育への支援と交流」の目標達成のための具体的な方法欄に記載</p> <p><u>(削除)</u></p> <p><u>4. 防災リーダーを育成し、共助の力を高める。</u> (主体：町、教委、地域) ※詳細は、「4-1-①防災・減災対策の充実」の目標達成のための具体的な方法欄に記載</p>	<p>短期的事業1と合わせた内容とし、本項目は削除</p> <p>同一内容で後期の重点事業へ登載する。</p> <p>取組の進捗状況等を踏まえ、取組を追加</p> <p>現在の状況等を踏まえて実施が困難と判断し、削除</p> <p>同一内容で後期の重点事業へ登載する。</p>

現行	見直し後	摘要
<p>6. <u>町民からの選出による「まちづくり町民みらい会議（仮称）」を開催する。</u>（主体：町）</p> <p>※詳細は、「5-1-①町民参加のまちづくりの推進」の目標達成のための具体的な方法欄に記載</p> <p>■10年間で継続して取り組むもの（継続的事業）</p> <p>1. まちづくり活動を行っている住民や団体に研修機会を提供する。（主体：町）</p>	<p>5. 「まちづくり町民みらい会議」を開催し、<u>町民からのアイデアや意見をまちづくりに取り入れる。</u>（主体：町）</p> <p>※詳細は、「5-1-①町民参加のまちづくりの推進」の目標達成のための具体的な方法欄に記載</p> <p>■_____継続して取り組むもの（継続的事業）</p> <p>1. まちづくり活動を行っている住民や団体に研修機会を提供する。（主体：町）</p>	<p>事業名を修正</p>

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	5	政策	1	施策	③ 広報・広聴、情報公開の充実	担当課・係	企画課ふれあいの係
------	---	----	---	----	-----------------	-------	-----------

現行					見直し後																													
成果目標 <table border="1"> <thead> <tr> <th>活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし</th> <th>単位</th> <th>現状 (令和元年度)</th> <th>中間目標 (5年後：R7年度)</th> <th>最終目標 (10年後：R12年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>町民通信員など町民による広報紙への情報発信回数【単年】</td> <td>回</td> <td>0</td> <td>12</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>町民通信員など町民によるSNSへの情報発信回数【単年】</td> <td>回</td> <td>0</td> <td>24</td> <td>48</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし</th> <th>単位</th> <th>現状 (平成30年度)</th> <th>中間目標 (5年後：R7年度)</th> <th>最終目標 (10年後：R12年度)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(ア) 行政に対する住民の意見や要望を反映させる場や機会に対する満足度</td> <td>%</td> <td>17.5</td> <td>30.0</td> <td>50.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※指標中の（ア）は、「まちづくり町民アンケート」により数値を把握するもの。</p>					活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	町民通信員など町民による広報紙への情報発信回数【単年】	回	0	12	36	町民通信員など町民によるSNSへの情報発信回数【単年】	回	0	24	48	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	(ア) 行政に対する住民の意見や要望を反映させる場や機会に対する満足度	%	17.5	30.0	50.0	成果目標 ※見直し項目なし				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)																														
町民通信員など町民による広報紙への情報発信回数【単年】	回	0	12	36																														
町民通信員など町民によるSNSへの情報発信回数【単年】	回	0	24	48																														
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (平成30年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)																														
(ア) 行政に対する住民の意見や要望を反映させる場や機会に対する満足度	%	17.5	30.0	50.0																														

現行	見直し後	摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. <u>町民通信員</u> によるSNSを活用した情報発信を強化する。 （主体：町） <u>高校生など若い世代の町民を情報通信員として、町からのお知らせ事項の発信に（SNSを活用し）協力してもらうことにより、町の情報発信力を強化する。</u>	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） 1. <u>町民</u> によるSNSを活用した情報発信を強化する。 （主体：町） <u>幅広い世代の町民及び町民通信員に、まちな日常やイベントの様子などをSNSで発信してもらえよう、必要な研修会を開催して町民や通信員の情報発信に関する意欲向上を図るとともに、SNSでの統一的な情報発信手段（統一したハッシュタグの検討など）について整備するなど、町の情報発信力を強化する。</u>	取組の進捗状況等を踏まえ、事業名、取組内容を修正

現行	見直し後	摘要
<p>■10年間で継続して取り組むもの（継続的事业）</p> <p>1. 町民参加型の広報紙へと転換する。（主体：町）</p> <p>2. <u>防災行政無線を活用し、町民への情報発信を行う。</u>（主体：町）</p> <p>3. <u>SNSと連動させるなど町公式ウェブサイトの情報発信力を強化する。</u></p> <p>4. 町民がより意見を出しやすくするため、広聴（町政懇談会、地域分担制、ご意見箱など）の方法について、随時見直し・改善を図る。（主体：町）</p>	<p>■_____継続して取り組むもの（継続的事业）</p> <p>3. 町民参加型の広報紙へと転換する。（主体：町）</p> <p>1. <u>防災行政無線や町公式ウェブサイト、SNSなど様々な手段を活用し、町民への情報発信力を強化する。</u>（主体：町） （項目を併合）</p> <p>2. 町民がより意見を出しやすくするため、広聴（町政懇談会、地域分担制、ご意見箱など）の方法について、随時見直し・改善を図る。（主体：町）</p>	<p>※事業掲載順を修正</p> <p>類似した内容であるため、継続的事业2と3を整理して1つの取組とする。</p>

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	5	政策	2	施策	① 効果的・効率的な行財政運営	担当課・係	総務課総務係・管財契約係・財政係・企画課企画防災係
------	---	----	---	----	-----------------	-------	---------------------------

現行					見直し後				
成果目標					成果目標				
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
公共施設（建物）の管理面積	㎡	123,321	117,115	110,989	公共施設（建物）の管理面積	㎡	123,321	117,115	110,989
地方債（借金）残高の金額	億円	157.6	122.3	77.7	地方債（借金）残高の金額	億円	157.6	122.3	77.7
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし	単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
公共施設（建物）の管理費【単年】	百万円	616	585	554	公共施設（建物）の管理費【単年】	百万円	479 (R6)	/	450
毎年の償還（返済）額【単年】	百万円	1,635.8	1,571.0	1,138.0	毎年の償還（返済）額【単年】	百万円	1,635.8	1,571.0	1,138.0
					(見直し理由) (公共施設（建物）の管理費) ・現状の実績等を踏まえ、目標を上方修正する。				

現行	見直し後	摘要
目標達成のための具体的な方法 ■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業） 1. 行政改革大綱に基づき、行財政改革を実行する。（主体：町） 持続可能なまちづくりに向け、新たな「行政改革大綱」を策定し、行財政改革を着実に実行する。	目標達成のための具体的な方法 ■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業） 1. 行政改革大綱に基づき、行財政改革を実行する。（主体：町） 持続可能なまちづくりに向け、令和7年度に策定した第6次行政改革大綱に基づき、行財政改革を着実に実行する。	取組の進捗状況等を踏まえ、取組内容を修正

現行	見直し後	摘要
<p>2. <u>まちの財政を学ぶ勉強会を開催する。</u>（主体：町） <u>町の財政状況がどのような状況かを町民と行政職員の双方が理解を深めるための勉強会を行う。難しい財政用語は町民にも分かりやすく解説し、町の財政に対する危機意識を高め、まちづくりに生かす。</u></p> <p>■ <u>10年間で継続して取り組むもの（継続的事業）</u></p> <p>1. <u>行政評価を本格導入することにより、事業を適正に推進するとともに必要な見直を行う。</u>（主体：町）</p> <p>2. <u>財務書類を活用して、財政分析と公共施設の適正管理を行う。</u>（主体：町）</p> <p>3. <u>事業の適正な推進により、地方債（借金）残高を縮減する。</u>（主体：町）</p>	<p>2. <u>まちの財政状況について町民にわかりやすく周知する。</u>（主体：町） <u>町の予算、決算の内容や財政用語を広報などで分かりやすく解説するなど、幅広く多くの町民が町の財政状況を理解できるように努め、まちづくりに活かす。</u></p> <p>■ <u>継続して取り組むもの（継続的事業）</u></p> <p>1. <u>行政評価により、それぞれの施策における成果目標の達成状況や事業の進捗状況を確認し、事業の改善につなげる。</u>（主体：町）</p> <p>3. <u>財務書類を活用して、財政分析と公共施設の適正管理を行う。</u>（主体：町）</p> <p>2. <u>事業の適正な推進により、地方債（借金）残高を縮減する。</u>（主体：町）</p>	<p>現在の状況等を踏まえて取組内容を修正</p> <p>※事業掲載順を修正</p> <p>取組の進捗状況等を踏まえ、記載内容を修正</p>

第6次広尾町まちづくり推進総合計画 後期見直しに係る新旧対照表

基本目標	5	政策	2	施策	② 移住・定住・交流・関係人口の創出	担当課・係	企画課企画防災係・社会教育課社会教育係
------	---	----	---	----	--------------------	-------	---------------------

現行					見直し後						
成果目標					成果目標						
活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし		単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	活動指標（アウトプット） ※何をどれくらいやったかを把握するためのものさし		単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
移住体験住宅利用者数【単年】		人	6	20	30	移住体験住宅利用者数【単年】		人	6	20	30
移住体験延べ滞在日数【単年】		日	103	350	400	移住体験延べ滞在日数【単年】		日	103	350	400
労働を伴う移住体験人数【累計】		人	4	12	20	労働を伴う移住体験人数【累計】		人	4	12	20
農山漁村ホームステイ事業への参加者数【単年】	受入れ家庭	戸	延べ79	延べ45	延べ45	農山漁村ホームステイ事業への参加者数【単年】	受入れ家庭	戸	延べ79	延べ45	延べ45
	子ども	人	延べ311	延べ180	延べ180		子ども	人	延べ311	延べ180	延べ180
給食用食材を提供した東京都の小中学校数【単年】		校	2	10	10	(削除)					
結婚相談所入会者数		人	10	30	30	結婚相談所入会者数		人	10	30	30
まちづくり事業の開催回数【累計】		回	0	5	10	まちづくり事業の開催回数【累計】		回	0	5	10
成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし		単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)	成果指標（アウトカム） ※どのような効果があったかを把握するためのものさし		単位	現状 (令和元年度)	中間目標 (5年後：R7年度)	最終目標 (10年後：R12年度)
体験事業を経た移住者数【累計】		人	0	10	20	体験事業を経た移住者数【累計】		人	0	10	20
年間婚姻数（広尾町に婚姻届を提出した組数）【単年】		組	20	24	24	年間婚姻数（広尾町に婚姻届を提出した組数）【単年】		組	20	24	24
<p>(見直し理由)</p> <p>(給食用食材を提供した東京都の小中学校数)</p> <p>・漁獲不振や物価高騰により、単価が値上がりしたことで広尾町の特色でもある海産物提供が難しくなっている状況を踏まえ、受入校以外への食材提供を中止する方向性としたため、指標を削除する。</p>											

現行	見直し後	摘要
<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■前期5年間で重点的に取り組むもの（短期的事業）</p> <p>1. <u>シーズンステイ志向の人に対する受入体制を構築する。</u> （主体：町）</p> <p><u>シーズンステイを望む人を対象に、空き家などを活用して住まいを提供したり、短期の仕事をあつ旋したり、子どもを対象としたサマースクール、サマーキャンプを実施したりして、夏の北海道を存分に楽しんでもらうための事業を実施する。</u></p> <p>2. 結婚支援の取組を行う。（主体：町）</p> <p><u>帯広信用金庫が行う「出会いの場創出事業」と連携し、未婚の男女を対象とした交流事業などを企画・実施する。</u></p> <p>3. 「まちづくり×婚活」事業を実施する。（主体：町）</p> <p><u>未婚の男女が、まちづくりについて話し合ったり、実際にまちづくり活動を行ったりする中で信頼関係を築き、その後、結婚へ発展するような事業を企画・実施する。</u></p> <p>4. 文化・スポーツ活動の合宿を誘致する。（主体：町）</p> <p>広尾町の冷涼な気候や海があるまちの利点などをアピールし、高校生や大学生、社会人の文化活動やスポーツ活動の合宿を誘致する。</p>	<p>目標達成のための具体的な方法</p> <p>■後期5年間で重点的に取り組むもの（重点事業）</p> <p>1. <u>多様な移住ニーズに対応した受入体制を構築する。</u> （主体：町）</p> <p><u>夏の避暑地としてシーズンステイを望む人や働き方の変革に伴うワーケーションといったニーズの変化に対応するため、移住相談担当者の配置やオンライン対応など相談窓口体制を構築する。また、北海道・十勝・広尾を体験できるプログラムの提供体制を整え、移住・定住・関係人口の増加を図る。</u></p> <p>2. 結婚支援の取組を行う。（主体：町）</p> <p><u>町内産業団体や経済団体と連携して実施する「出会いの場創出事業」により、未婚の男女を対象としたまちづくり活動や交流事業などを企画・実施する。また、結婚新生活支援補助金による経済的支援を継続して実施する。</u></p> <p>（項目を併合）</p> <p>（継続的事業へ移行）</p>	<p>取組の進捗状況等を踏まえ、取組内容を修正</p> <p>類似した取組内容のため、短期的事業2と3の取組を合わせて記載内容を整理</p> <p>短期的事業2と合わせた取組として整理</p>

現行	見直し後	摘要
<p><関連する重点プロジェクト></p> <p>⑥「賑わいと健康」創出プロジェクト</p> <p>⑧空き家再生プロジェクト</p> <p>■<u>10年間で継続して取り組むもの（継続的事業）</u></p> <p>1. 移住体験住宅を活用した移住体験希望者の受け入れを行う。 （主体：町）</p> <p>2. 子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する。 （主体：ホームステイ受入協議会、町）</p> <p><u>3. 姉妹市町村やふるさと会との交流事業を推進する。（主体：町）</u></p> <p><u>4. 十勝地域と東京都台東区・墨田区との連携交流事業を実施する。</u> （主体：町）</p> <p>5. 空き家バンク制度の充実を図り、町外からの移住定住を促進する。 （主体：町）</p>	<p><関連する重点プロジェクト></p> <p>⑥「賑わいと健康」創出プロジェクト</p> <p>⑧空き家再生プロジェクト</p> <p>■ _____ 継続して取り組むもの（継続的事業）</p> <p>1. 移住体験住宅を活用した移住体験希望者の受け入れを行う。 （主体：町）</p> <p>2. 子ども農山漁村ホームステイ事業を実施する。 （主体：ホームステイ受入協議会、町）</p> <p><u>4. 姉妹市町村やふるさと会との交流事業を推進する。（主体：町）</u> <u>（削除）</u></p> <p><u>3. 空き家バンク制度の充実を図り、町外からの移住定住を促進する。</u> （主体：町）</p> <p><u>5. 文化・スポーツ活動の合宿を誘致する。（主体：町）</u></p>	<p>※事業掲載順を修正</p> <p>令和5年度で広域連携事業が終了したが、その後交流を継続していないため、項目を削除</p> <p>短期的事業から移行</p>